

承認番号	3624
研究課題名	炎症性腸疾患に伴う脊椎関節炎の発症および重症化リスク要因の調査
研究の意義・目的	炎症性腸疾患（IBD）に脊椎関節炎（SpA）が合併することが知られています。SpAが合併すると、四肢の関節や脊椎・仙腸関節に炎症が生じ、その部位の構造が破壊された結果、日常生活動作に支障が出てまいります。しかしながら、その詳細は不明な点が多く、IBDに合併するSpAの割合や、SpAを合併しやすいIBDの患者さんの特徴、SpAが重症になりやすいIBD患者さんの特徴などは不明のままです。このような点が明らかになれば、IBD患者さんの病状をより良い方向に導けます。
研究期間	2016年09月16日 ～ 2025年12月31日
研究対象者の範囲	上記の期間内に大阪市立大学医学部附属病院の消化器内科または整形外科で、炎症性腸疾患または運動器症状をともなう炎症性腸疾患の治療のため受診された患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	炎症性腸疾患と運動器の疼痛にかかわる情報を診療録から抽出し、研究に利用させて頂きます。身長、体重、既往歴、併存症、合併症などの背景因子や血液検査、X線検査や超音波検査などの画像情報がそれに含まれます。
利用者の範囲	得られた情報は自施設のみで利用します。これには、あなたの性別、生年月日も含まれますが、カルテ番号、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は含まれません。情報の集計に際してはプライバシー保護のため、個人が特定できない情報に置き換えて対応し、結果を公表する場合も個人名が出ることはありません。
研究機関の情報	（該当しません）
代表施設のURL	（該当しません）
試料・情報を公表する方法	国内外のリウマチ性疾患領域を中心とした学術集会や学術誌にて報告することで情報を公開します。この時、個人情報特定される事はありません。
試料・情報の提供方法	（該当しません）
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 乾健太郎
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究組織：大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 住所：545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 電話：06-6645-2121 研究代表者：乾健太郎